

## 中国魏晋南北朝における華南墳墓の類型的分析

戴 俊 英

はじめに

激動と混乱の魏晋南北朝時代において、長く頻繁に行われていた紛争に乗じて蜂起した北方及び西方の諸民族の中原への侵入によって、その地域に住んでいた漢民族は戦乱を逃れて多くは江南に移住することとなった。中国の南北間における諸民族の大移動は政治的な混乱を引き起こすと同時に、それぞれの血を交えて中国に新しいエネルギーを注入し、南方を大規模に開発することになる。

“華南”は湖南省から江西省・浙江省・福建省等に及ぶ広い範囲を指し、そのうち、湖南・江西省は武漢を中心とした長江の中流域で、浙江・福建省は南京を中心とした長江下流域である。これらは中原から遥かに離れた地であったが、漢民族の大移動によって様々な影響を受けることになった。その一方で、土着の文化伝統を基にした強固な地域性をも維持し続けたのであった。

### 一、華南墓葬についての従来の研究

#### 1. 先行研究者による華南墳墓の記述

① 葉驍軍氏は、墳墓の形状・副葬品の形態・器物（副葬品）の器種構成を基に中国南部の墳墓群を長江中下流域・閩広地域・西南地域に三分した上で、それぞれの特徴について述べている。長江中・下流域では江蘇と浙江の資料が主であり、湖南・湖北・江西の資料は補助的である〔文献1〕。

長江中・下流域の墳墓群における副葬品の下位分類と墳墓類型：

副葬品は、4類型15型式に分類することが出来る。以下に、その4類型を示す。

第一類（生活用具）：瓮・罐・碗・耳杯・長頸壺・炉

第二類（模型明器）：倉・竈・井・碓房・磨盤など

第三類（陶俑）：鎮墓獸・男女俑・家畜家禽

第四類（その他）：虎子・兵器・銅鏡・銅銭・金銀装飾品・様々な彩色罐など

I型墓：長方形券頂磚室墓で、墓室は前・中・後室に分けることが出来、長さは9m以上。副葬品は四類型の総てが備わっている。

II型墓：長方形磚室墓で、長さは6m前後。概ね、墓室は前・後室の2つに分けることが出来る。墓頂は四隅からの持ち送りによる穹窿頂で、副葬品は四類型のすべてが備わっている。

III型墓：長方形券頂磚室墓。概ね単室で、長さは3m前後。副葬品は四類型のすべてが備わっているが、第三・四類のものは少ない。

IV型墓：豎穴式の土壙墓。墓室の長さは概ね2.5m以下。副葬品は第一類のみで、数量も少ない。

“閩広”は福建・広東・広西の総称である。閩広地区では長方形券頂単室墓（長方凸形単室と長方刀形単室）が盛んに行なわれている。並列の双室墓は閩広地区では少なく、中原地区にはない。閩広地区の多くの墓は紋様磚と銘文磚で築かれている。

② 馮普仁氏は南朝墓葬の類型について述べている〔文献2〕。

まず馮普仁氏は、南朝墳墓の磚室墓を平面形態によって凸字形墓・刀形墓・長方形墓・多室墓の四つに分け、さらに凸字形墓を規模と構造によって四型式に細分した。

I型墓：規模は大。長さは約13-15mあり、帝王陵である。江蘇の丹陽と南京に分布している。

II型墓：長さは7-10mであり、王侯墓である。江蘇、特に南京に集中している。

III型墓：長さは4-7mであり、官僚士族墓である。湖南の長沙地区では玄室も甬道も外に凸の弧壁であるが、玄室の後壁だけは平直で、そこに長方形の小龕が築かれている。また、棺床と墓壁の間には排水溝が設けられている。浙江の新昌、江西の新干、福建の福州・閩侯・建甌・南安などでも同様に玄室の後壁は平直で龕が設けられている。墓壁から突出した二枚の煉瓦で壁龕に替えているものもある。玄室の後半部に磚で棺床を築いているものが多い。

IV型墓：長さは4m以下であり、平民墓である。壁龕・棺床・排水溝については、いずれも設けられていない。

刀形墓は単室券頂の中・小型墓で、福建・浙江において盛んに造られている。多くの場合、玄室の後壁に龕が造られているが、墓壁から突出した二枚の煉瓦で壁龕に替えているものもある。玄室の内部には排水溝が設けられてある。

長方形墓が江西・浙江・広東に分布している。長方形墓は墓の規模と構造によって、大・中・小型に区分されている。

大型墓：全長は7m以上であり、前・後両室に区分されている。墓底部は階段状になって徐々に上がっており、墓室後壁の中央には磚柱が築かれている。

中型墓：全長は4-6m。前・後両室に区分され、墓室の前・後端に2組の磚柱が築かれている。

小型墓：全長は4m以下で、規模は小さい。前・後室の区分はなく、磚柱も築かれていない。

また、多室墓が江西の吉安・贛県・余幹、福建の建甌、広東の始興、広西の梧州・融安で発見されている。構造は様々である。

③ 蔣贊初氏は六朝墳墓の構造と副葬品の変遷によって、長江中流域（湖南・湖北・江西）の墳墓を四つの時期に区分した〔文献3〕。

第一期：後漢から東呉まで

第二期：西晋から東晋初期まで

第三期：東晋の中・後期

第四期：南朝時代

第一期：大型墓には甬道を附けた横前堂後室墓がよく見られる。これは、前堂に一つもしくは二つ

の耳室が附いたものである。墓頂は券頂（弧頂）がほとんどであるが、穹窿頂も出現している。前堂に祭台を築き、後室に棺床を配する墳墓もある。排水溝の設けられた墳墓はあまりない。中型墓は短い甬道を附けた単室券頂墓、即ち凸形単室墓と刀形単室墓である。長方形券頂の双室並列墓もある。墓頂は券頂が多い。祭台・棺床・排水溝など墓室内の施設はほとんど無い。小型墓は、甬道の無い長方形単室墓である。墓頂は券頂と疊洪頂とがある。祭台・棺床・排水溝は無い。

第二期：全て中型墓で、短い甬道を附けた単室墓、即ち凸形単室墓である。墓壁は外に向けて弧を描くように張り出している。墓頂は券頂が多い。墓室に棺床が築かれたものは少ない。排水は方形の排水穴によっている。

第三期：凸形単室券頂墓が多い。別に刀形単室墓と無甬道の長方形単室墓があり、これらは中型墓でも小さなものと小型墓にしか見られない。墓壁は外に凸の弧壁である。祭台・棺床・排水溝など墓室内の施設が煉瓦で盛んに築かれるようになった。

第四期：すべて大・中型墓で、主要な類型は凸形単室券頂墓である。墓壁は外に凸の弧壁で、墓室には棺床と排水溝が築かれている。劉宋期になると、墓壁に小龕と直櫺窓が築かれるようになる。墓磚は連癩紋・網格紋・纏枝花葉紋などの紋様煉瓦である。

④ 楊泓氏は1952-1958年に発掘された湖南の長沙地区の西晋墓について述べている〔文献4〕。

すべて磚室墓であるこの墓群を、楊氏は大型と小型に二分している。

- A. 小型墓：前部に甬道の附いた長方形単室墓が多い。全長は約4-5.9mである。墓壁は外に凸の弧壁が多く、小龕が築かれている。墓底には煉瓦で排水溝が、墓室内には棺床が設けられている。
- B. 大型墓：前・後双室で、前室には耳室が附設されている。墓壁は外に凸の弧壁であり、墳墓の全長は10mである。

⑤ 姚仲源氏は浙江にある六朝の古墓について概説している。その際、築造年次によって墳墓を四つの時期に区分した〔文献5〕。

第一期：三国から西晋

第二期：東晋

第三期：劉宋

第四期：齊・梁・陳

第一期：墳墓の類型は凸字形券頂磚椁墓が多く、また少数ではあるが、刀形券頂墓や凸字形片耳室付きの券頂墓もある。さらに特異なものとして、安吉三官郷の“干”字形攢尖頂磚椁墓と杭州金門檻の前・中・後三室の前・中空間に両耳室を附した券頂磚椁墓が、それぞれ1基ずつある。副葬品は、多く玄室の前半部分と甬道に置かれており、磁器が中心となっている。その内訳は、壺・罐・碗・盆・耳杯・燂炉・硯台・釜・“水井”・豚檻などである。

第二期：全体として墳墓は西晋より小さくなり、凸字形券頂磚墓が主となっているが、顕著な地域差も認められる。黄岩秀嶺水庫においては長方形券頂磚墓が半分以上を占め、金華竹馬館・瑞安桐溪

蘆蒲ではすべて刀形券頂磚墓であり、諸暨牌頭では玄室に棺床が築かれたものが出現している。排水路を設けてあるものは少数で、壁に龕を築くことが盛んに行われている。副葬品は、壺・罐・碗・盆・耳杯・燂炉・硯台・虎子などである。

第三期：墳墓の類型分布から、著しい地域差が見て取れる。瑞安桐溪蘆蒲においては刀形券頂磚墓が7基、黄岩秀嶺水庫では長方形券頂磚墓があるが、両地域ともに凸字形券頂磚墓は無くなっている。また、玄室の後壁に龕が築かれている。副葬品は、壺・罐・碗・皿である。

第四期：刀形券頂磚墓が2基、長方形堅穴磚墓が1基、凸字形券頂磚墓が1基ある。それ以外はすべて長方形券頂磚墓である。その墓底は細長く、券頂は低い。副葬品は、壺・罐・碗・盤・鉢である。

⑥ 曾凡氏は福建六朝磚墓の形態について論じている〔文献6〕。

A型：長方形単室磚墓 堅穴土墳に煉瓦で墳墓が築かれ、磚の封門があり、すべて小型単室墓である。

直壁で玄室の前半部に“供案”（祭台）が設けられている。墓磚は紅色の素面磚である。

B型：甬道が附いた長方形単室磚墓 B型にはⅠ・Ⅱ式の下位区分がある。

Ⅰ式：甬道が玄室の真中に附いた凸字形単室券頂墓で、玄室に棺床が築かれたものもある。墓磚は蕉葉・銅銭・円心米字紋などの紋様磚。

Ⅱ式：甬道が玄室の右/左寄りに附いた刀形単室券頂墓である。玄室には棺床が築かれている。墓磚は魚・銅銭・葉脈紋などの紋様磚である。

C型：多室磚墓。平面の形態によってⅠ・Ⅱ・Ⅲ式に細分されている。

Ⅰ式：短い甬道と前端附両耳室・後室になる。

Ⅱ式：双凸形室。

Ⅲ式：両耳室が前・後室の間にある。即ち“中”字形である。墓磚はさまざまで、線・網格・円・米字などの幾何紋、魚・葉脈・卷草などの動植物紋、青龍・白虎・朱雀・玄武などの四神、飛天・僧・宝瓶などの仏教説話に関するものである。墓壁は直壁・板状の切石積みで、すべて単葬墓である。

⑦ 林忠干氏は墳墓の築造年次によって福建六朝墓を論じている〔文献7〕。

西晋墓：大型墓が2基あり、そのうち1基は双凸形墓であり、1基は刀形墓である。中・小型墓は全て刀形墓と凸字形墓である。玄室に祭台は築かれていない。墓室の後壁と左右の側壁に方形の燈龕が設けられている墓もある。墓磚の両面に蟬形・蕉葉・網格・繩紋、側面に銭・蕉葉・米字・網格・同心円などの紋何紋様がある。副葬品は10点ぐらいあり、青磁器が主である。

東晋墓：大型墓はなく、すべて中・小型墓である。墳墓の類型は凸字形・刀形・長方形である。玄室の前に祭台を築いており、墓壁には小龕が造られている。墓磚の表面は繩紋と網格紋で、側面は銭・蕉葉・米字・同心円・獣面・魚龍などの紋様で飾られている。

南朝墓：大型墓が3基あり、すべて“十字”形墓である。中・小型墓には刀形墓が多い。次に凸字形墓が多く、長方形墓と多室墓は少ない。墓壁を固めて弧頂を支えるために、墓室の四隅に磚で柱

が築かれている。甬道から玄室の後半分までは階段状で徐々に高くなっており、最高部は棺台になっていて自然に排水できる。墓室の前半部に祭台は築かれていない。墓磚の側面には蓮花・纏枝・卷草紋・青龍・白虎・朱雀・玄武の四神、僧人・忍冬・宝相・宝瓶・飛天・飛鶴などの仏教説話を想起させる紋様で飾られている。

## 2、先行研究における問題点

① 葉饒軍氏は、規模の大きさによって墳墓を分類する。墳墓の規模は身分・地位など階層による較差を表し得るが、経年変化・地域差が反映されているとは必ずしも言えず、この分類方法では不十分であると思われる。また岡広地区の墳墓については、事例そのものが省略されているため、具体的なことは一切わからない。

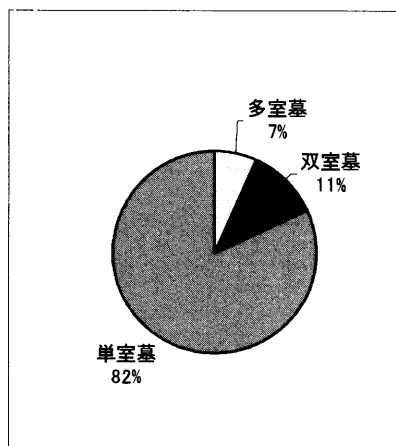
② 馮普仁氏は南朝磚室墓の凸字形墓を規模によって四型式に区分したが、規模のみによって墳墓階梯を決定しているという問題がある。また、实例に乏しく、六朝墳墓の時代性や地域性を全体的かつ総合的に探求しているとは言い難い。

③ 蒋贊初氏は長江中流域（湖南・湖北・江西）の六朝墓を四期に区分しているが、墳墓の規模と築造年次による氏の編年案は墓室の類型と構造の変化を明らかにし得ていない。

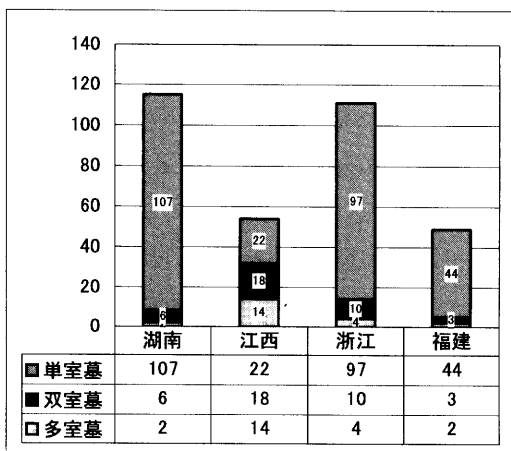
④ 楊弘氏は1952—1958年に発掘された湖南長沙地区の西晋墓について述べているが、華南地区の南朝墳墓における内部構造の全体的な見通し・具体例に基づいた構成要素の確定・時間的変化の動向・地域的多様性などについて、あまり研究が進んでいるとは言えない。

⑤ 姚仲源氏は浙江にある六朝の古墓について概説しており、林忠干氏は福建六朝墓を論じている。その際、築造年次によって墳墓の時期を区分しているが、類型が明らかになっていない。

⑥ 曾凡氏は福建六朝磚室墓をA・B・Cに三分し、単室墓と多室墓を区分した。双室墓を多室墓に組み込んでいるのは煩雑で不適切な分類であると思われる。



図一 多室・双室・単室墓総数の比較



図二 多室・双室・単室墓数の省別比較

## 二、華南墓葬についての筆者の見解

魏晋南北朝の華中墳墓については、これまでに蓄積された研究成果に新しく発掘された資料を加えて、さらに厳密に整理分析する必要がある。筆者は先行研究を踏まえた上で、もう一度魏晋南北朝時代の華南地域（湖南・江西・浙江・福建）の墳墓に関するデータを整理してグラフと図面を作成し、それに基づいて墳墓研究に新たな展望を示すこととしたい。具体的には華南の墳墓における類型論を提起することであり、最終的に編年案の作成を目標とするものである。

集成した資料により、墳墓総数は329基ある。そのうち多室墓は22基で、これは墳墓総数の7%にあたる（図一）。多室墓は湖南に2基、江西に14基、浙江に4基、福建に2基ある（図二）。双室墓は37基あり、これは墳墓総数の11%にあたる（図一）。双室墓は湖南に6基、江西に18基、浙江に10基、福建に3基ある（図二）。単室墓は270基。これは墳墓総数の82%にあたる（図一）。単室墓は湖南に107基、江西に22基、浙江に97基、福建に44基ある（図二）。これらの資料から、単室墓の占める割合の大きいことがわかる。それぞれの省においても、単室墓が大きな割合を占めている。

### 1. 多室墓

(1) 多室墓の型式 多室墓22基（湖南2・江西14・浙江4・福建2）

多室墓の平面のあり方によって、I・II・III・IVの4型式に区分する（表1・図四）。

I型：単室附側室 3基

I-1：単室附兩耳室 2基

湖南長沙晋墓M22〔文献8〕〈図四-1〉、浙江瑞安南朝梁天監九年墓(510年)〔文献9〕〈図四-15〉はその例である。

I-2：単室の甬道附兩耳室 1基

湖南長沙晋墓M24〔文献8〕〈図三-2〉はその例である。

II型：前後双室縦列附側室 10基

II-1：前後双室縦列、後室附片耳室 2基

浙江安吉天子崗吳晋墓M3〔文献10〕〈図四-16〉、紹興官山奥西晋中期墓〔文献11〕〈図四-17〉はその例である

II-2：前後双室縦列前室附側室 6基

II-2-a：前後双室縦列、前室附片耳室 1基

江西清江西晋墓M9〔文献12〕〈図四-3〉はその例である。

II-2-b：前後双室縦列、前室附兩耳室 4基

江西南昌東吳高榮墓〔文献13〕〈図四-4〉、南昌火車站東晋墓M5〔文献14〕〈図四-5〉、福建建甌木墩南朝梁天監五年墓(506年)〔文献15〕〈図四-19〉、政和南朝梁墓M833〔文献16〕〈図四-20〉は、その例である。

表1 魏晉南北朝華南地区墓室類型一覽

		対象墳墓総数	湖南	江西	浙江	福建	計	
		墳墓総数	115	54	111	49	329	
多 室 墓	I 型 (単室附側室)	I-1 (単室附兩耳室)	2	14	4	2	22(7%)	
		I-2 (単室の甬道附兩耳室)	1		1		3	
	II 型 (前後双室縦列 附側室)	II-1 (前後双室縦列後室片耳室)			2		2	
		II-2 (前後双室縦列 前室附側室)	II-2-a (前室附片耳室)		1			6
			II-2-b (前室附兩耳室)		2		2	
			II-2-c (前室附兩耳室・回廊)		1			
	II-3 (前後双室縦列、真中藻井附兩耳室)		1			1		
	II-4 (前後双室縦列、前室附兩耳室、後室の後壁附片耳室)		1			1		
	III 型 (三室縦列或並列)	III-1 (前中後三室縦列)	III-1-a (三室縦列)		4			6
			III-1-b (三室縦列、後室附龕)		1			
III-1-c (三室縦列、過洞附兩耳室)					1			
III-2 (左中右三室並列)		1			1			
IV 型 (二つ組並列連接)			2			2		

II-2-c: 前後双室縦列、前室附兩耳室・回廊 1基

江西吉水吳晉磚墓〔文献17〕〈図四-6〉はその例である。

II-3: 前後双室縦列、真中の藻井附兩耳室 1基

江西南昌小蘭鄉東吳墓〔文献18〕〈図四-7〉はその例である。

II-4: 前後双室縦列、前室附兩耳室、後室後壁附片耳室 1基

江西南昌火車站東晋墓M4〔文献14〕〈図四-8〉は、その例である。

III型: 三室縦列、または三室並列 7基

III-1: 前・中・後三室縦列 6基

III-1-a: 長方形三室縦列 4基

江西靖安虎山西晋墓M1(286年)〔文献19〕〈図四-9〉、江西靖安虎山西晋墓M2(288年)〔文献19〕、清江洋湖東晋昇平元年墓M4(357年)〔文献20〕〈図四-10〉、贛県南朝齊建武四年墓M4(497年)〔文献21〕〈図四-11〉が、その例である。

III-1-b: 長方形三室縦列、後室附龕 1基

江西新干酒廠西晋墓〔文献22〕〈図四-12〉は、その例である。

III-1-c: 長方形三室縦列、過洞附兩耳室 1基

浙江杭州金門檻西晋太安年墓(302-304年)〔文献23〕〈図四-18〉は、その例である。

Ⅲ-2: 左・中・右三室並列 1基

江西吉安南朝齐永明十一年墓(493年)〔文献24〕〈無図〉は、その例である。

Ⅳ型: 二組並列連接 2基

江西南昌市郊南朝劉宋墓(京墓1)〔文献25〕〈図四-13〉、高安南朝宋齐墓〔文献26〕〈図四-14〉は、その例である。

(2) 多室墓の分布地域(図三-▲) 湖南省: 長沙。江西省: 清江、南昌、吉水、靖安、贛県、新干、吉安、高安。浙江省: 瑞安、安吉、紹興、杭州。福建省: 建甌、政和。

表2 魏晋南北朝華南地区墓室類型一覽表

対象墳墓総数		湖南	江西	浙江	福建	計	
		115	54	111	49	329	
墳墓総数		6	18	10	3	37(11%)	
双 室 墓	Ⅰ型 (単室附片耳室)	Ⅰ-1 (長方凸形単室横壁附片耳室)		1	1	3	
		Ⅰ-2 (長方凸形単室附片耳室)			1		
	Ⅱ型 (前後双室縦列)	Ⅱ-1 (長方双凸形室縦列)	Ⅱ-1-a (直長方双凸形室縦列)		1	1	7
			Ⅱ-1-b (弧長方双凸形室縦列)		1		
	Ⅱ-2 (方双凸形室縦列)		1		1	2	
	Ⅱ-3 (長方形双室縦列)	Ⅱ-3-a (前室有甬道の双室縦列)		1	3	3	21
		Ⅱ-3-b (前室無甬道の双室縦列)			12		
	Ⅱ-4 (前凸後刀形双室縦列)				1	1	
	Ⅱ-5 (前異後刀形室縦列)					1	
	Ⅲ型 (左右双室並列)		2				2

## 2. 双室墓

(1) 双室墓の型式 双室墓37基(湖南6・江西18・浙江10・福建3)

双室墓の平面のあり方によって、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3型式に区分する(表2・図五)。

Ⅰ型: 単室附片耳室 3基

Ⅰ-1: 長方凸形単室横壁附片耳室 2基

江西南昌東湖区東吳墓M2〔文献27〕〈図五-6〉、浙江衢県街路村西晋墓〔文献28〕〈図五-21〉は、その例である。

Ⅰ-2: 長方凸形単室後壁附片耳室 1基

浙江嵊県南朝陳禎明二年墓M76(588年)〔文献29〕〈無図〉はその例である。

Ⅱ型: 前後双室縦列 32基



Ⅱ-1: 長方双凸形室縦列 7基

Ⅱ-1-a: 直壁長方双凸形室縦列 6基

湖南耒陽城関南朝墓M176〔文献30〕〈図五-1〉、江西南昌東湖区東呉墓M4〔文献27〕〈図五-7〉、浙江嵊県大塘嶺東呉墓M101(257年)〔文献31〕、嵊県大塘嶺東呉墓M95(263年)〔文献31〕〈図五-22〉、安吉天子崗西晋太康六年墓M2(285年)〔文献10〕〈図五-23〉、福建浦城呂処塢西晋元康墓M2(296年)〔文献32〕〈図五-28〉などが代表例である。

Ⅱ-1-b: 孤壁長方双凸形室縦列 1基

湖南長沙晋墓M26〔文献8〕〈無図〉はその例である。

Ⅱ-2: 方双凸形室縦列 2基

湖南長沙晋墓M23〔文献8〕〈図五-2〉、浙江安吉三官郷呉晋墓〔文献33〕〈図五-24〉は、その例である。

Ⅱ-3: 長方形双室縦列 21基 (湖南1・江西15・浙江3・福建2)

Ⅱ-3-a: 前室有甬道の長方形双室縦列 9基 (湖南1・江西3・浙江3・福建2)

湖南長沙晋墓M25〔文献8〕〈図五-3〉、江西南昌西湖区西晋湛千鈐墓〔文献34〕〈図五-8〉、清江洋湖東晋昇平元年墓M3(357年)〔文献20〕〈図五-9〉、贛県南朝劉宋景平年胡氏墓(424年)〔文献35〕〈図五-10〉、浙江金華古方三国墓M12〔文献36〕〈図五-25〉、金華古方南朝梁墓M33(510年)〔文献36〕〈図五-26〉、瑞安蘆蒲南朝梁墓M152〔文献37〕、福建浦城呂処塢東晋興寧三年墓(365年)〔文献32〕、政和南朝梁墓M834〔文献16〕〈図五-29〉などはその代表例である。

Ⅱ-3-b: 前室無甬道の長方形双室縦列 12基 (江西)

江西南昌市郊東呉永安六年墓(263年)〔文献38〕〈図五-11〉、吉水城郊2号西晋墓〔文献39〕〈図五-12〉、新建樂化老屋村西晋墓〔文献40〕〈図五-13〉、南昌徐家坊西晋墓〔文献41〕〈図五-14〉、南昌東湖区西晋从事中郎呉応墓〔文献34〕、清江洋湖東晋墓M9(東晋中前)〔文献20〕〈図五-15〉、清江洋湖東晋寧康二年墓M5(374年)〔文献20〕〈図五-16〉、南昌市郊劉宋墓(京墓3)〔文献25〕〈図五-17〉、清江経樓南朝陳至德二年墓(584年)〔文献42〕〈図五-18〉、南昌張家山第六号南朝墓〔文献43〕〈図五-19〉、などはその代表例である。

Ⅱ-4: 前凸後刀形室縦列 1基

江西瑞昌馬頭西晋墓〔文献44〕〈図五-20〉はその例である。

Ⅱ-5: 前異後刀形室縦列 1基

浙江瑞安桐溪南朝梁墓M124(542年)〔文献37〕〈図五-27〉はその例である。

Ⅲ型: 左、右双室並列 2基

湖南長沙資興晋墓M545〔文献45〕〈図五-4〉、耒陽城関西晋墓M116〔文献30〕〈図五-5〉はその例である。

(2) 双室墓の分布地域 (図三一■) 湖南省：長沙、資興、耒陽。江西省：南昌、贛県、吉水、新建、清江、瑞昌。浙江省：衢県、嵊県、安吉、金華、瑞安。福建省：浦城、政和。

表3 魏晋南北朝華南地区墓室類型一覽表

対象墳墓総数			湖南	江西	浙江	福建	計
			115	54	111	49	329
单 室 墓	墳墓総数		107	22	97	44	270(82%)
	I型 (長方凸形单室)	I-1 (直壁長方凸形)	29	4	36	21	118
		I-2 (弧壁長方凸形)	26		2		
	II型 (弧方凸形单室)		2				2
	III型 (長方刀形单室)				24	18	42
	IV型 (長方形单室)	IV-1 (直壁長方形)	44	17	34	5	108
		IV-2 (弧壁長方形)	1		1		
		IV-3 (長方台形)	5	1			

### 3. 单室墓

(1) 单室墓の型式 单室墓270基 (湖南107・江西22・浙江97・福建44)

单室墓の平面のあり方によって、I・II・III・IVの4型式に区分する (表3・図六)。

I型：長方凸形单室墓 118基 (湖南55・江西4・浙江38・福建21)

I-1：直壁長方凸形单室墓 90基 (湖南29・江西4・浙江36・福建21)

その代表例は次のようである。湖南長沙瀏陽姚家園西晋太康八年墓M1 (287年) [文献46]、資興晋墓M390 [文献45] <図六一1>、資興晋墓M393 [文献45] <図六一2>、耒陽城関東晋墓M110 (380年) [文献30] <図六一3>、資興南朝梁天監四年墓M474 (506年) [文献45] <図六一4>、資興南朝梁普通元年墓M413 (520年) [文献45] <図六一5>、邵陽南朝梁中大通二年墓M5 (530年) [文献47]、衡東城関南朝墓M1 [文献48] <図六一6>、江西南昌郊区東吳墓都M1 [文献49] <図六一20>、南昌東晋朱氏夫婦墓 [文献50]、九江蔡家窪東晋晚期墓 [文献51] <図六一21>、贛県劉宋元嘉七年胡氏墓M2 (430年) [文献52] <図六一22>、浙江金華古方三国甘露二年墓M28 (266年) [文献36] <図六一28>、嵊県東吳天紀二年墓M74 (278年) [文献29]、紹興後家嶺西晋太康七年墓 (286年) [文献53]、上虞西晋元康七年墓 (297年) [文献54] <図六一29>、紹興鳳凰山西晋永嘉墓 (313年) [文献55]、黄岩秀嶺水庫東晋墓M20 (327年) [文献56] <図六一30>、杭州東晋丞相參軍都郷侯褚氏墓 (364年) [文献57] <図六一31>、富陽東晋太元二十年呂公墓 (395年) [文献58]、東陽李宅鎮南朝宋墓 (427年) [文献59] <図六一32>、新昌十九号南齊墓 (483年) [文献60] <図六一33>、福建霞浦眉頭山東吳天紀元年墓 (277年) [文献61]、浦

城呂処塢西晋元康墓M4 (296年)〔文献32〕〈図六一44〉、建甌陽澤東晋墓M1 (331年)〔文献62〕〈図六一45〉、将楽南朝劉宋泰始五年墓M3(469年)〔文献63〕〈図六一46〉、建甌小橋東晋永和三年墓M1 (347年)〔文献64〕、福州金鷄山南朝墓M6〔文献65〕、福州屏山南朝劉宋墓〔文献66〕〈図六一47〉、閩侯南嶼南朝齊梁墓〔文献67〕〈図六一48〉、建甌水西山南朝墓M2〔文献68〕、将楽南朝墓M2〔文献63〕〈図六一49〉。

I - 2 : 孤壁長方凸形单室墓 28基 (湖南26、浙江2)

湖南長沙南郊砂子塘晋墓M2〔文献69〕〈図六一7〉、長沙晋墓M4〔文献8〕〈図六一8〉、長沙東晋昇平五年墓M1 (361年)〔文献8〕、長沙爛泥冲東晋寧康三年墓(375年)〔文献70〕、株洲東晋墓〔文献71〕〈図六一9〉、長沙爛泥冲南朝齊永元元年墓M1(499年)〔文献72〕〈図六一10〉、長沙南朝齊永元元年劉氏墓M2 (499年)〔文献72〕〈図六一11〉、浙江嵊県東晋中晚期墓M53〔文献29〕〈図六一34〉、奉化南朝梁墓 (502-519年)〔文献73〕〈図六一35〉などはその例である。

II型：弧方凸形单室墓 2基

湖南長沙西晋墓M21(302年)〔文献8〕〈図六一12〉、安郷西晋宣成公劉弘墓(306年)〔文献74〕〈図六一13〉などはその例である。

III型：長方刀形单室墓 42基 (浙江24・福建18)

浙江嵊県大塘嶺東吳墓M104(238-257年)〔文献31〕〈図六一36〉、黄岩秀嶺水庫東吳墓M5 (276年)〔文献56〕〈図六一37〉、瑞安蘆蒲東晋墓M157 (318年)〔文献37〕、嵊県東晋永和七年墓M66(351年)〔文献29〕、金華県竹馬館東晋墓(390年)〔文献75〕嵊県東晋墓M14〔文献29〕〈図六一38〉、黄岩秀嶺水庫劉宋墓M49(447年)〔文献56〕〈図六一39〉、蒼南藻溪南朝宋墓M1(451年)〔文献76〕〈図六一40〉、瑞安桐溪南朝宋墓M119(463年)〔文献37〕、福建浦城呂処塢西晋元康墓M1(296年)〔文献32〕〈図六一50〉、建甌小橋東晋永和三年墓M2 (347年)〔文献64〕、南安豐州獅子山東晋墓M1 (378年)〔文献77〕〈図六一51〉、政和南朝劉宋大明六年墓M831 (462年)〔文献16〕〈図六一52〉、福州橋頭山齊建武四年墓M1 (497年)〔文献78〕〈図六一53〉、南安豐州華僑中学南朝墓M9〔文献79〕〈図六一53〉、建甌水西山南朝墓M1〔文献68・文献7〕〈図六一55〉などは、その例である。

IV型：長方形单室墓 108基 (湖南50・江西18・浙江35・福建5)

IV - 1 : 直壁長方形单室墓 100基 (湖南44・江西17・浙江34・福建5)

その代表例は、次のとおりである。湖南耒陽城関三国墓M169〔文献30〕〈図六一14〉、資興晋墓M386〔文献45〕〈図六一15〉、耒陽城関東晋墓M96〔文献30〕〈図六一16〉、長沙南郊野坡南朝墓M1〔文献69〕〈図六一17〉、長沙南朝墓M7〔文献8〕、資興南朝墓M388〔文献45〕、江西南昌繩金塔西晋墓(304年)〔文献80〕、九江黄土嶺色織廠西晋墓〔文献81〕〈図六一23〉、新干金鷄嶺東晋墓M4〔文献82〕〈図六一24〉、清江潭埠劉宋泰始墓M3 (470年)〔文献83〕〈図六一25〉、南昌市郊劉宋墓(羅墓1)〔文献25〕〈図六一26〉、浙江黄岩秀嶺水庫晋墓M28(299-342年)〔文献56〕、新昌嶺脚村東晋墓 (385-394年)〔文献84〕〈図六一41〉、新昌蓮花庵嶺南朝宋墓(472年)

〔文献85〕、蒼南藻溪南朝宋齊墓M2〔文献76〕〈図六-42〕、瑞安蘆蒲南朝梁墓M151(528年)〔文献37〕、福建南安豐州華僑中学東晋咸康元年墓(335年)〔文献79〕、閩侯荆溪廟後山東晋永和五年墓(349年)〔文献86〕〈図六-56〕、南安豐州獅子山東晋墓M2(375年)〔文献77〕、福州西門外南朝墓M1〔文献87〕、南安豐州華僑中学南朝墓M10〔文献79〕などはその例である。

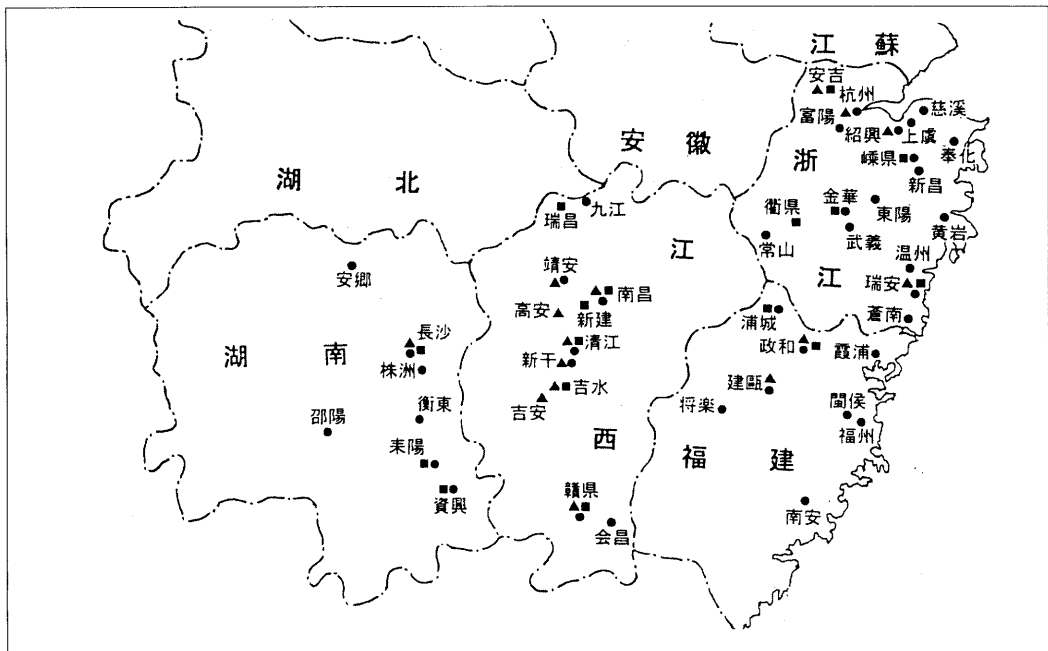
IV-2: 弧壁長方形単室墓 2基

湖南長沙桂花園東晋昇平五年墓(361年)〔文献88〕、浙江紹興里木柵南朝墓M4〔文献89〕〈図六-43〕はその例である。

IV-3: 長方台形単室墓 6基(湖南5・江西1)

湖南長沙瀏陽姚家園西晋墓M2〔文献46〕、資興晋墓M382〔文献45〕〈図六-18〕、耒陽城関南朝墓M248〔文献30〕〈図六-19〕、南昌南郊西晋墓M3〔文献90〕〈図六-27〕はその例である。

(2) 単室墓の分布地域(図三一●) 湖南省: 長沙、資興、耒陽、安郷、衡東、株洲、邵陽。 江西省: 南昌、九江、会昌、新干、贛県、清江、靖安。 浙江省: 黄岩、新昌、瑞安、嵊県、蒼南、金華、武義、紹興、慈溪、常山、上虞、杭州、富陽、東陽、温州、奉化。 福建省: 霞浦、将楽、浦城、建甌、南安、閩侯、福州、政和。



図三 多室・双室・単室墓分布図

▲ 多室墓 ■ 双室墓 ● 単室墓

## おわりに

以上、華南（湖南・江西・浙江・福建）の墳墓群について整理・検討した結果、この地域にどのような墓が築かれ、当時どのような形式の墓が盛んだったかについての概観が得られた。また華南全体には影響を及ぼさないものの、下位の地域単位ごとの独自性を反映した有力な墳墓形式の消長も見られた。以下においては、華南全域の共通性ととも、より小さな地域を単位とした差異とそれを共有する地域について考察するものである。

### 1. 華南全域に共通する墳墓形態の特性

第1に、埋葬施設。墓槨が消え、すべて墓室になった。それらはほぼ横穴式の墓室である（附表）。

第2に、多室墓・双室墓・単室墓の三類型のうち、単室墓が圧倒的多数を占めるという事実である。集成した資料によると、墳墓総数329基のうち22基が多室墓で全体の7%にあたり、双室墓は37基で同じく11%にあたる。両方を加えても18%にしかない。これに対して単室墓は270基あり、これは墳墓数全体の実に82%に当たるのである。また、それぞれの省においても単室墓は大きな割合を占めている。

第3に、前・後室間無甬道連接縦列の多室墓が11基（江西8・浙江1・福建2）、双室墓が21基（湖南1・江西15・浙江3・福建2）あるのが目立つ。

第4に、墳墓の構造は概して単純なもので、帝后陵は無い。規模も小さく、玄室の長さ・幅・高さはいずれも5メートルを越えない。

第5に、弧壁に比して直壁の墳墓が多い（附表）。湖南省では113基のうち80基が、浙江省では99基のうち93基が直壁であり、江西・福建省に至ってはすべてが直壁である。

以上、指摘した点については華南の各地域についても同様であることに留意したい。このことは墳墓型式の変遷と社会観・生活様式を含む地域の動向との関連を裏付けるものであり、墳墓形式が当時の社会の在り方や政治的・宗教的な指導原理などの反映であると見ることもできるのではなかろうか。

### 2. 特定の地域に限定された類型の特徴をいくつか指摘することができる。

第1に、湖南省では多室・双室・単室の弧壁墓が顕著である。113基のうち直壁墓は僅か33基に過ぎない。

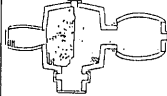

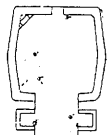
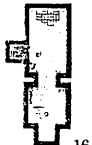


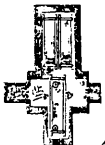



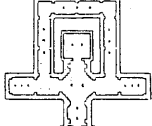
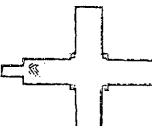
第2に、江西省で前室と前後室間無甬道連接縦列の双室墓が見られる点は注目される。


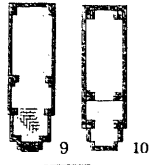



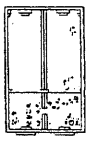
第3に、刀形単室墓が浙江省（24基）・福建省（18基）で多いことである。

魏晋南北朝期における墳墓の類型には、地域を乗り越えた共通性が認められる一方で地域的な特性が存在するのも事実である。地域における類型上の特質を受け継いでいること、つまり、地域社会における伝統の保持ということである。この点では、直壁長方形墓が漢代の伝統的墓制を継承して、盛んにおこなわれているという事実を挙げることができよう。

ここまで、華南の墳墓について地域的な差異を中心に見てきた。これまで明らかになったことをもとに、墳墓の形態的特徴を構成する諸要素間の承継関係を明らかにすることができると思われる。それらを総合して、時代によって墳墓がどのように変わっていったか、という具体的な編年案を提示するのは後稿に譲ることとしたい。




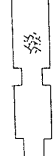
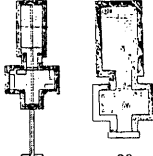
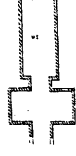


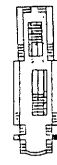
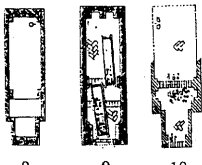
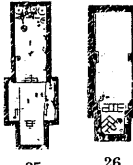

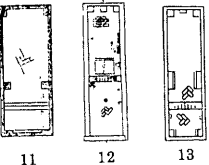
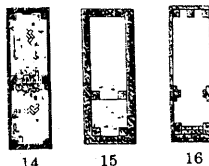
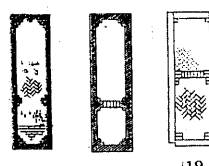
注：相応する訳語の見当たらない術語については、中国におけるものをそのまま用いた。

類 型		湖 南	江 西	浙 江	福 建
I 型 (単室 附側室)	I-1 (単室附両耳室)	 1		 15	
	I-2 (単室の甬道附両耳室)	 2			
II 型 (前後 双室 縦列 附側室)	II-1 (前後双室縦列 後室附片耳室)			 16   17	
	II-2 前後 双室 縦列 附側室	II-2-a (前室附 片耳室)	 3		
		II-2-b (前室附 両耳室)	 4   5		 19   20
		II-2-c (前室附両 耳室・回廊)	 6		
		II-3 (前後双室縦列、 真中藻井附両耳室)		 7	


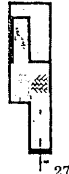
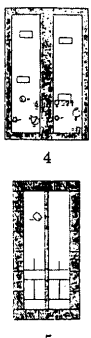
	II-4 (前後双室縦列、前室 附両耳室、後室の後壁 附片耳室)			8	
III 型 (三 室 縦 列 或 並 列)	III-1 前 中 後 三 室 縦 列	III-1-a (三室縦列)		9 10	
		III-1-b (三室縦列、 後室附竈)		11	
		III-1-c (三室縦列、 過洞附両 耳室)		18	
	III-2 (左中右三室並列)		無図		
IV 型 (二つ組並列連接)				13	
				14	

図四 多室墓類型図 (縮尺不統一、以下同じ)

- |                  |                         |                          |
|------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 湖南長沙晉墓 M22    | 8. 江西南昌火車站東晉墓 M4        | 15. 浙江瑞安梁天監九年墓(510年)     |
| 2. 湖南長沙晉墓 M24    | 9. 江西靖安虎山西晉墓 M1(286年)   | 16. 浙江安吉天子崗吳晉墓 M3        |
| 3. 江西清江西晉墓 M9    | 10. 江西清江洋湖東晉墓 M4(357年)  | 17. 浙江紹興官山墓西晉中期墓         |
| 4. 江西南昌東吳高崇墓     | 11. 江西贛興齊建武四年墓 M4(497年) | 18. 浙江杭州金門藍西晉墓(302-304年) |
| 5. 江西南昌火車站東晉墓 M5 | 12. 江西新干酒廠西晉墓           | 19. 福建建甌木墩梁天監五年墓(506年)   |
| 6. 江西吉水吳晉磚墓      | 13. 江西南昌市郊劉宋墓(京墓1)      | 20. 福建政和南朝梁墓 M833        |
| 7. 江西南昌小蘭鄉東吳墓    | 14. 江西高安南朝宋齊墓           |                          |

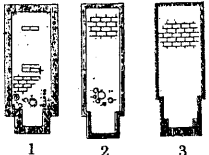
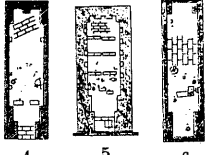
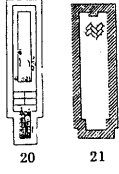

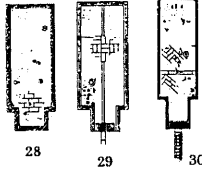
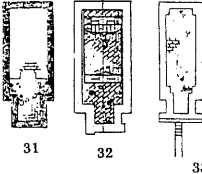
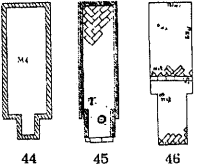
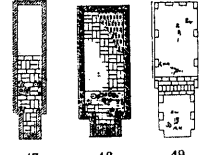
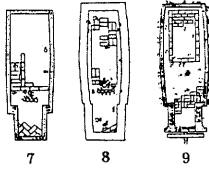
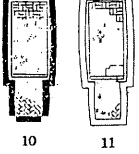
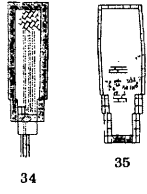
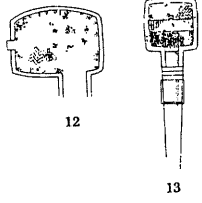
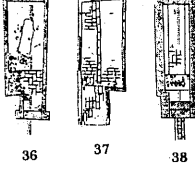
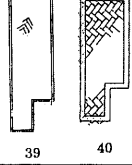
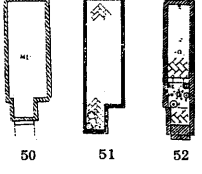
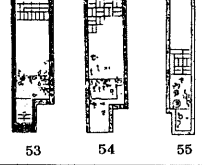
類 型		湖 南	江 西	浙 江	福 建	
I 型 (单室附片耳室)	I-1 (長方凸形单室 横壁附片耳室)		 6	 21		
	I-2 (長方凸形单室附耳室)			無図		
II 型 (前後双室縱列)	II-1 (長方双凸 形室縱列)	II-1-a (直長方双凸 形室縱列)	 1	 7	 22 23	 28
		II-1-b (弧長方双凸 形室縱列)	無図			
	II-2 (方双凸形室縱列)	 2		 24		
	II-3 (長方形双 室縱列)	II-3-a (前室有甬道 の双室縱列)	 3	 8 9 10	 25 26	 29
II-3-b (前室無甬道 の双室縱列)			 11 12 13  14 15 16  17 18 19			

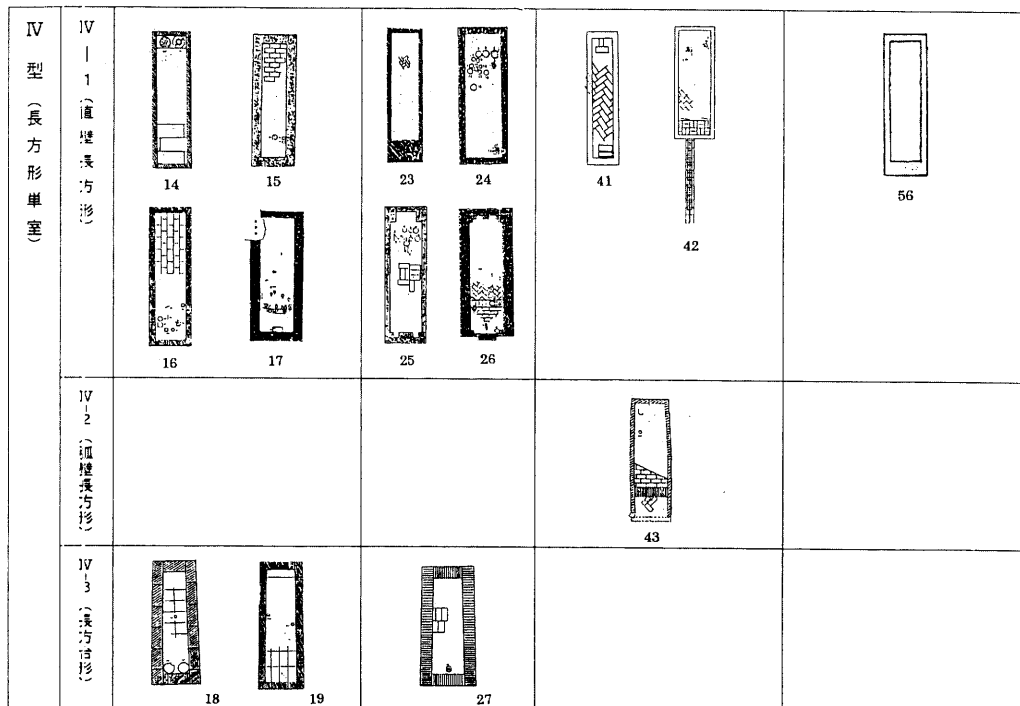


<p>II-4 (前凸後刀形双室縱列)</p>		 <p>20</p>		
<p>II-5 (前異後刀形室縱列)</p>			 <p>27</p>	
<p>III型 (左右双室並列)</p>	 <p>4 5</p>			

図五 双室墓類型図

- |                        |                        |                           |
|------------------------|------------------------|---------------------------|
| 1. 湖南耒陽城關南朝墓 M176      | 11. 江西南昌市郊吳永安六年墓(263年) | 21. 浙江衢県街路村西晋墓            |
| 2. 湖南長沙晋墓 M23          | 12. 江西吉水城郊 2 号西晋墓      | 22. 浙江嵊県大塘嶺東吳墓 M95(263年)  |
| 3. 湖南長沙晋墓 M25          | 13. 江西新建染化老屋村西晋墓       | 23. 浙江安吉天子崗西晋墓 M2(285年)   |
| 4. 湖南長沙資興晋墓 M545       | 14. 江西南昌徐家坊西晋墓         | 24. 浙江安吉三官郷吳晋墓            |
| 5. 湖南耒陽城關西晋墓 M116      | 15. 江西清江洋湖東晋墓 M5(東晋中前) | 25. 浙江金華古方三国墓 M12         |
| 6. 江西南昌東湖区東吳墓 M2       | 16. 江西清江洋湖東晋墓 M5(374年) | 26. 浙江金華古方南朝梁墓 M33(510年)  |
| 7. 江西南昌東湖区東吳墓 M4       | 17. 江西南昌市郊南朝劉宋墓(京墓 3)  | 27. 浙江瑞安桐溪南朝梁墓 M124(542年) |
| 8. 江西南昌西湖区西晋湛千鈞墓       | 18. 江西清江經樓至德二年墓(584年)  | 28. 福建浦城呂処鳩西晋元康墓 M2(296年) |
| 9. 江西清江洋湖東晋墓 M3(357年)  | 19. 江西南昌張家山第六号南朝墓      | 29. 福建政和南朝梁墓 M834         |
| 10. 江西贛県劉宋景平年胡氏墓(424年) | 20. 江西瑞昌馬頭西晋墓          |                           |

類型		湖 南	江 西	浙 江	福 建
I 型 (長方形単室)	I-1 (直壁長方形)	 <p>1 2 3</p>  <p>4 5 6</p>	 <p>20 21</p>  <p>22</p>	 <p>28 29 30</p>  <p>31 32 33</p>	 <p>44 45 46</p>  <p>47 48 49</p>
	I-2 (弧壁長方形)	 <p>7 8 9</p>  <p>10 11</p>		 <p>34 35</p>	
II 型 (弧方凸形単室)	 <p>12 13</p>				
III 型 (長方刀形単室)				 <p>36 37 38</p>  <p>39 40</p>	 <p>50 51 52</p>  <p>53 54 55</p>



図六 単室墓類型図

- |                              |                                 |                              |
|------------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 湖南資興晉墓 M390               | 20. 江西南昌郊区東吳墓都 M1               | 39. 浙江黃岩秀嶺水庫劉宋墓 M49 (447 年)  |
| 2. 湖南資興晉墓 M393               | 21. 江西九江蔡家壠東晉晚期墓                | 40. 浙江蒼南溪南朝宋墓 M1 (451 年)     |
| 3. 湖南耒陽城關東晉墓 M110 (380 年)    | 22. 江西贛東劉宋元嘉七年胡氏墓 M2 (430 年)    | 41. 浙江新昌嶺脚村東晉墓 (385—394 年)   |
| 4. 湖南資興南朝梁天監四年墓 M474 (506 年) | 23. 江西九江黃土嶺色織廠西晉墓               | 42. 浙江蒼南溪南朝宋齊墓 M2            |
| 5. 湖南資興南朝梁普通元年墓 M413 (520 年) | 24. 江西新干金鷄嶺東晉墓 M4               | 43. 浙江紹興里木橋南朝墓 M4            |
| 6. 衡東城關南朝墓 M1                | 25. 江西清江潭埠劉宋泰始墓 M3 (470 年)      | 44. 福建浦城呂処鳩西晉元康墓 M4 (296 年)  |
| 7. 湖南長沙南郊砂子塘晉墓 M2            | 26. 江西南昌市郊劉宋墓 (羅墓 1)            | 45. 福建建甌陽潭東晉墓 M1 (331 年)     |
| 8. 湖南長沙晉墓 M4                 | 27. 江西南昌南郊西晉墓 M3                | 46. 福建將樂南朝劉宋泰始五年墓 M3 (469 年) |
| 9. 湖南株洲東晉墓                   | 28. 浙江金華古方三國甘露二年墓 M28 (266 年)   | 47. 福建福州屏山南朝劉宋墓              |
| 10. 湖南長沙瀟泥沖齊齊元元年墓 M1 (499 年) | 29. 浙江上虞西晉元康七年墓 (297 年)         | 48. 福建閩侯南嶺南朝齊梁墓              |
| 11. 湖南長沙南朝齊墓 M2 (499 年)      | 30. 浙江黃岩秀嶺水庫東晉墓 M20 (327 年)     | 49. 福建將樂南朝墓 M2               |
| 11'. 湖南長沙西晉墓 M21 (302 年)     | 31. 浙江杭州東晉都鄉侯褚氏墓 (364 年)        | 50. 福建浦城呂処鳩西晉元康墓 M1 (296 年)  |
| 11''. 湖南安鄉西晉宣成公劉弘墓 (306 年)   | 32. 浙江東陽李宅鎮南朝宋墓 (427 年)         | 51. 福建南安豐州獅子山東晉墓 M1 (378 年)  |
| 14. 湖南耒陽城關三國墓 M169           | 33. 浙江新昌十九号南齊墓 (483 年)          | 52. 福建政和南朝劉宋墓 M831 (462 年)   |
| 14'. 湖南資興晉墓 M386             | 34. 浙江嵊縣東晉中晚期墓 M53              | 53. 福建福州蒲頭山齊建武四年墓 M1 (497 年) |
| 16. 湖南耒陽城關東晉墓 M96            | 35. 浙江奉化南朝梁墓 (502—519 年)        | 54. 福建南安豐州華僑中學南朝墓 M9         |
| 17. 湖南長沙南郊野坡南朝墓 M1           | 36. 浙江嵊縣大塘嶺東吳墓 M104 (238—257 年) | 55. 福建建甌西山南朝墓 M1             |
| 18. 湖南資興晉墓 M382              | 37. 浙江黃岩秀嶺水庫東吳墓 M5 (276 年)      | 56. 福建閩侯荊溪東晉永和五年墓 (349 年)    |
| 19. 湖南耒陽城關南朝墓 M248           | 38. 浙江嵊縣東晉墓 M14                 |                              |



番号	書名	著者	年代	種別	形態	内容	備考	平均値
56	東陽城郭西晋墓 (M3)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.0	0.3
57	東陽城郭西晋墓 (M132)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.2	0.3
58	東陽城郭西晋墓 (M187)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.4	0.4
59	東陽城郭西晋墓 (M193)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.4	0.3
60	東陽城郭西晋墓 (M234)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.8	0.7
61	東陽城郭西晋墓 (M242)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.4	0.4
62	東陽城郭西晋墓 (M345)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.2	0.4
63	東陽城郭西晋墓 (M345)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.4	0.4
64	東陽城郭西晋墓 (M385)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.1	1.1
65	東陽城郭西晋墓 (M390)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.8	1.8
66	東陽城郭西晋墓 (M393)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.4	1.4
67	東陽城郭西晋墓 (M447)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.8	1.1
68	東陽城郭西晋墓 (M453)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.1	1.2
69	東陽城郭西晋墓 (M458)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.7	1.7
70	東陽城郭西晋墓 (M377)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.3	1.8
71	東陽城郭西晋墓 (M381)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.0	0.9
72	東陽城郭西晋墓 (M386)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.5	0.9
73	東陽城郭西晋墓 (M387)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.5	0.7
74	東陽城郭西晋墓 (M389)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.1	0.7
75	東陽城郭西晋墓 (M391)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	1.9	0.5
76	東陽城郭西晋墓 (M412)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.5	0.9
77	東陽城郭西晋墓 (M450)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.7	0.6
78	東陽城郭西晋墓 (M451)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.7	1.9
79	東陽城郭西晋墓 (M452)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.4	0.7
80	東陽城郭西晋墓 (M486)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.5	1.8
81	東陽城郭西晋墓 (M498)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.0	0.7
82	東陽城郭西晋墓 (M492)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.9	0.5
83	東陽城郭西晋墓 (M493)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	1.4	0.4
84	東陽城郭西晋墓 (M410)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	1.4	0.4
85	東陽城郭西晋墓 (M482)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.6	1.8
86	東陽城郭西晋墓 (M400)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.1	1.1
87	東陽城郭西晋墓 (M417)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.9	0.9
88	東陽城郭西晋墓 (M418)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.6	1.0
89	東陽城郭西晋墓 (M422)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.9	1.2
90	東陽城郭西晋墓 (M432)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.5	0.9
91	東陽城郭西晋墓 (M437)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.9	1.2
92	東陽城郭西晋墓 (M439)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.3	0.7
93	東陽城郭西晋墓 (M439)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.5	1.6
94	東陽城郭西晋墓 (M439)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.6	1.6
95	東陽城郭西晋墓 (M243)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.4	1.2
96	東陽城郭西晋墓 (M496)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.8	0.9
97	東陽城郭西晋墓 (M188)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.2	0.8
98	東陽城郭西晋墓 (M298)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.8	0.9
99	東陽城郭西晋墓 (M382)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.0	0.7
100	東陽城郭西晋墓 (M474)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.10 × 1.0 × 0.76 = 2.35	
101	東陽城郭西晋墓 (M413)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.4	1.3
102	東陽城郭西晋墓 (M5)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	7.0	3.9
103	東陽城郭西晋墓 (M5)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	5.8	3.6
104	東陽城郭西晋墓 (M37)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	5.9	2.6
105	東陽城郭西晋墓 (M176)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.8	1.5
106	東陽城郭西晋墓 (M189)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	5.2	1.4
107	東陽城郭西晋墓 (M1)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	5.2	1.4
108	東陽城郭西晋墓 (M388)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.6	1.4
109	東陽城郭西晋墓 (M245)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.0	0.8
110	東陽城郭西晋墓 (M494)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	4.2	1.3
111	東陽城郭西晋墓 (M247)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	3.6	1.1
112	東陽城郭西晋墓 (M248)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.6	0.6
113	東陽城郭西晋墓 (M248)	東陽	280-317	東陽	東陽城郭西晋墓	東陽城郭西晋墓	2.9	1.0

中国魏晋南北朝南朝墳墓

江西晉

長さ単位:m

附表

Table with columns: 番号 (No.), 墳墓名 (Mound Name), 所在地 (Location), 時期 (Period), 形制 (Form), 構造 (Structure), 出土品 (Excavated Items), 参考文獻 (References), 平均値 (Average). Rows 20-54 list various tombs in Jiangxi, including locations like 南昌, 吉安, and 靖安, and details on their architectural forms and associated artifacts.

中国魏晋南北朝墳墓

附表

番号	墳墓名	所在地	三國	西晉	東晉	墓	墳墓施設形勢		墓室施設形勢		墓室位置	規模	考索文獻
							結構	規模	門	室			
1	魏王大將軍孫資墓(M104)	魏縣	238-267			磚室	長方形	1.2 1.1	磚室	後室	4.7 1.6	考索91.3	
2	魏王大將軍孫資墓(M105)	魏縣	238-267			磚室	長方形	1.4 1.1	磚室	後室	4.7 1.6	考索91.3	
3	魏王大將軍孫資墓(M101)	魏縣	238-267			磚室	長方形	1.8 1.1	磚室	後室	4.4 1.4	考索91.3	
4	魏王大將軍孫資墓(M105)	魏縣	238-267			磚室	長方形	0.7 1.1	磚室	後室	4.4 1.4	考索91.3	
5	金華王孫資墓(M28)	交邑	265-280			磚室	長方形	1.2 1.1	磚室	後室	4.4 1.4	考索91.3	
6	交邑孫資墓(M5)	交邑	265-280			磚室	長方形	1.2 1.1	磚室	後室	4.4 1.4	考索91.3	
7	交邑孫資墓(M5)	交邑	265-280			磚室	長方形	1.2 1.1	磚室	後室	4.4 1.4	考索91.3	
8	魏縣孫資墓(M74)	魏縣	278年			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.2 1.7	考索95.6	
9	金華王孫資墓(M12)	武城	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	3.8 1.4	考索89.9	
10	魏縣孫資墓(M101)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索81.4	
11	交邑孫資墓(M102)	交邑	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.5 4.9	考索93.6	
12	魏縣孫資墓(M107)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
13	魏縣孫資墓(M107)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
14	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
15	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
16	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
17	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
18	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
19	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
20	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
21	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
22	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
23	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
24	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
25	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
26	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
27	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
28	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
29	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
30	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
31	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
32	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
33	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
34	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
35	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
36	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
37	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
38	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
39	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
40	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
41	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
42	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
43	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
44	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
45	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
46	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
47	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
48	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
49	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
50	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
51	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
52	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
53	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
54	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	
55	魏縣孫資墓(M111)	魏縣	265-280			磚室	長方形	1.1 1.1	磚室	後室	4.1 1.6	考索80.10	

Table with multiple columns: 墓誌銘文(墓誌銘文), 年代, 墓主, 位置, 形制, 出土物, 研究, etc. The table lists various archaeological findings from the Southern Dynasties period, including tomb inscriptions, dates, names, locations, and types of tombs.

平均値 369 x 134 x 140 = 6.92

平均値 421-502年 晋 421-588年 南朝

平均値 371-401年 晋(中) 421-479年 晋(中)

平均値 291-300年 西晋(中) 345-371年 晋(中)

平均値 295-289年 孫吳(晚) 281-290年 西晋(早)

平均値 421-589年 晋(中)



中国魏晉南北朝墳墓

長x単位:m

福建省

福建省

Table with columns: 墓号 (Tomb No.), 墳名 (Tomb Name), 所在地 (Location), 年代 (Date), 形制 (Form), 结构 (Structure), 出土物 (Excavated Objects), 其他 (Remarks), 参考文献 (References).

平均値

平均値

317-420年: 東晉 421-479年: 劉宋 479-557年: 宋 502-589年: 南朝(中晚)

【参考文献】

- (1) 葉驍軍「中国墓葬發展史」甘肅文化出版社 1994年
- (2) 馮普仁「南朝墓葬的類型與分期」『考古』1985年3期
- (3) 蔣贊初「長江中游六朝墓葬的分期和斷代」『中国考古学会第三次年会論文集』文物出版社 1984年
- (4) 楊泓「三国考古的新發現」『文物』1986年3期
- (5) 姚仲源「浙江漢、六朝古墓概述」中国考古学会編『中国考古学会年会論文集』（1981年）
- (6) 曾凡「關於福建六朝墓的一些問題」『考古』1994年5期
- (7) 林忠干・林存琪・陳子文「福建六朝墓初論」『福建文博』1987年2期
- (8) 湖南省博物館「長沙兩晋南朝隋唐墓發掘報告」『考古學報』1959年3期
- (9) 潘知山「浙江瑞安梁天監九年墓」『文物』1993年11期
- (10) 安吉県博物館・程亦勝「浙江安吉天子崗漢晋墓」『文物』1995年6期
- (11) 梁志明「浙江紹興官山唐西晋墓」『文物』1991年6期
- (12) 江西省博物館考古隊「江西清江晋墓」『考古』1962年4期
- (13) 江西省歷史博物館「江西南昌市東吳高崇墓的發掘」『考古』1980年3期
- (14) 江西省文物考古研究所・南昌市博物館「南昌火車站東晋墓群發掘簡報」『文物』2001年2期
- (15) 許清泉「福建建甌木墩梁墓」『考古』1959年1期
- (16) 福建省博物館・政和県文化館「福建政和松源、新口南朝墓」『文物』1986年5期
- (17) 李希朗「江西吉水晋代磚室墓」『南方文物』1994年3期
- (18) 南昌県博物館「江西南昌県發現三国吳墓」『考古』1993年1期
- (19) 江西省文物工作隊「江西靖安虎山西晋、南朝墓」『考古』1987年6期
- (20) 江西省文物管理委員會「江西清江洋湖晋墓和南朝墓」『考古』1965年4期
- (21) 贛州市博物館「江西贛県南齊墓」『考古』1984年4期
- (22) 江西省文物工作隊・新干県文物陳列室「江西新干県西晋墓」『考古』1983年12期
- (23) 浙江省文物管理委員會「杭州金門檻西晋墓」『考古』1961年4期
- (24) 平江・許智范「江西吉安県南朝墓」『文物』1980年2期
- (25) 江西省博物館考古隊「江西南昌市郊南朝墓發掘簡報」『考古』1962年4期
- (26) 高安県博物館「江西高安清理一座南朝墓」『考古』1985年9期
- (27) 唐昌朴「江西南昌東吳墓清理簡記」『考古』1983年10期
- (28) 衢県文化館「浙江衢県街路村西晋墓」『考古』1974年6期
- (29) 嵊県文管會「浙江嵊県六朝墓」『考古』1988年9期
- (30) 衡陽市文物工作隊「湖南耒陽城関六朝唐宋墓」『考古學報』1996年2期
- (31) 嵊県文管會「浙江嵊県大塘嶺東吳墓」『考古』1991年3期

- (32) 福建省博物館・浦城県文化館「福建浦城呂処塢晋墓清理簡報」『考古』1988年10期
- (33) 浙江省文物管理委員會「浙江安吉三官郷的一座六朝初期墓」『考古』1958年6期
- (34) 江西省博物館「江西南昌晋墓」『考古』1974年6期
- (35) 贛州地区博物館・贛県博物館「江西贛県南朝宋墓」『考古』1990年5期
- (36) 金華地区文管会「浙江金華古方六朝墓」『考古』1984年9期
- (37) 浙江省文物管理委員會「浙江瑞安桐溪與蘆蒲古墓清理」『考古』1960年10期
- (38) 秦光杰「江西南昌市郊吳永安六年墓」『考古』1965年5期
- (39) 江西省文物考古研究所・吉水県博物館「江西吉水城郊2号西晋墓」『文物』2001年2期
- (40) 余家棟「江西新建清理兩座晋墓」『文物』1975年3期
- (41) 江西省文物管理委員會「江西南昌徐家坊六朝墓清理簡報」『考古』1965年9期
- (42) 清江県博物館「江西清江絳樓南朝紀年墓」『文物』1987年4期
- (43) 江西省文物管理委員會「江西的漢墓與六朝墓葬」『考古學報』1957年1期
- (44) 江西省博物館「江西瑞昌馬頭西晋墓」『考古』1974年1期
- (45) 湖南省博物館「湖南資興晋南朝墓」『考古學報』1984年3期
- (46) 高至喜「瀏陽姚家園清理晋墓二座」『文物』1960年4期
- (47) 邵陽市文物局「湖南邵陽南朝紀年磚室墓」『文物』2001年2期
- (48) 衡陽市文物工作隊・衡陽県文物管理所「湖南衡東城関南朝墓清理簡報」『江漢考古』1992年2期
- (49) 江西省博物館「江西南昌東漢・東吳墓」『考古』1978年3期
- (50) 陳定栄・許智范「南昌市区清理一座東晋墓」『考古』1984年4期
- (51) 九江県文物保護管理所「江西九江県清理一座東晋墓」『江西文物』1990年1期
- (52) 贛県博物館・贛州地区博物館「江西贛県南朝宋墓的清理」『考古』1996年1期
- (53) 紹興県文管所「浙江紹興坡塘郷后家嶺晋太康七年墓」『考古』1992年5期
- (54) 上虞県文化站・朱瑞錢「浙江上虞發現晋墓」『文物資料叢刊』第2集(1978年)
- (55) 沈作霖「浙江紹興鳳凰山西晋永嘉七年墓」『文物』1991年6期
- (56) 浙江省文物管理委員會「黄岩秀嶺水庫古墓發掘報告」『考古學報』1958年1期
- (57) 浙江省文物管理委員會「杭州晋興寧二年墓發掘簡報」『考古』1961年7期
- (58) 朱伯謙「浙江富陽發現晋墓」『考古』1955年5期
- (59) 趙寧「浙江東陽県李宅鎮南朝墓」『考古』1991年8期
- (60) 新昌県文管会・潘表惠「浙江新昌十九号南齐墓」『文物』1983年10期
- (61) 黄亦釗「霞浦發見東吳天紀元年墓」『福建文物』1989年1-2期合刊
- (62) 建甌県博物館「福建建甌陽澤晋墓清理簡報」『考古』1989年3期
- (63) 李双柱・李建軍・劉暉琦・馬強「将樂兩座南朝墓清理簡報」『福建文物』1989年1-2期合刊
- (64) 建甌県博物館「建甌小橋東晋“永和三年”墓」『福建文博』1987年1期

- (65) 曾凡「福州洪塘金鷄山古墓葬」『考古』1992年10期
- (66) 福建省博物館「福州屏山南朝墓」『考古』1985年1期
- (67) 福建省博物館「福建閩侯南嶼南朝墓」『考古』1980年1期
- (68) 慮茂村「福建甌水西山南朝墓」『考古』1965年4期
- (69) 湖南省博物館「長沙南郊的兩晉南朝隋代墓葬」『考古』1965年5期
- (70) 湖南省文物管理委員會「長沙南郊爛泥冲晉墓清理簡報」『文物』1955年11期
- (71) 湖南省博物館「醴陵、株洲發現漢晉墓葬」『湖南考古輯刊』第3集(1986年)
- (72) 湖南省文物管理委員會「長沙爛泥冲齊代磚室墓清理簡報」『文物』1957年12期
- (73) 覃光榮「浙江奉化鼎南梁墓」『考古』1984年9期
- (74) 安鄉縣文物管理所「湖南安鄉西晉劉弘墓」『文物』1993年11期
- (75) 牟永抗「浙江金華鼎竹馬館發現晉墓」『考古』1957年1期
- (76) 温州市文物處「浙江蒼南鼎藻溪南朝墓」『考古』1986年7期
- (77) 晉江地區文物管理委員會・泉州市文物管理委員會「福建南安豐州獅子山東晉墓」『考古』1983年11期
- (78) 福建省文物管理委員會・黃漢傑「福建閩侯閩口橋頭山發現古墓」『考古』1965年8期
- (79) 福建省文物管理委員會「福建南安豐州東晉、南朝、唐墓清理簡報」『考古』1958年6期
- (80) 江西省博物館「江西南昌市郊的兩座晉墓」『考古』1981年6期
- (81) 九江市博物館「江西九江黃土嶺兩座東晉墓」『考古』1986年8期
- (82) 江西省文物管理委員會「江西新干金鷄嶺晉墓南朝墓」『考古』1966年2期
- (83) 江西省博物館考古隊「江西清江南朝墓」『考古』1962年4期
- (84) 新昌縣文管會「浙江新昌東晉墓」『考古』1993年5期
- (85) 新昌縣文管會・潘表惠「浙江新昌南朝宋墓」『文物』1983年10期
- (86) 黃漢傑「福建荆溪廟后山古墓清理」『考古』1959年6期
- (87) 曾凡「福州西門外六朝墓清理簡報」『考古』1957年5期
- (88) 湖南省文管會文物工作隊「長沙北門桂花園發現晉墓」『文物』1955年11期
- (89) 紹興縣文管所「浙江紹興里木柵晉、唐墓」『考古』1994年6期
- (90) 江西省博物館「江西南昌市南郊漢六朝墓清理簡報」『考古』1966年3期